

令和 7 年第 3 回富谷市議会定例会

一般質問通告書

質問順	氏 名	質問順	氏 名
1	菊池 美穂	9	須藤 義
2	青柳 信義	1 0	畠山 由美
3	佐藤 浩崇	1 1	浅野 直子
4	菅原 福治	1 2	村上 治
5	渡邊 俊一	1 3	長谷川る美
6	小松 大介	1 4	荒谷 敏
7	塩田 智明	1 5	渡邊 清美
8	出川 博一	1 6	伊藤 嘉樹

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1
受付月日	8月19日（火）
受付時間	8：44

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 1 9 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 7 番 菊池 美穂

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菊池 美穂
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 学校体育館への空調設備の設置を求める

【質問要旨】－簡明に－

近年の猛暑・自然災害の頻発という環境下、小中学校の体育館では、空調機能の構築は喫緊の課題となっています。本年５月時点の文部科学省の調査によると、全国の公立小中学校の体育館等への空調設備設置率は２２．７％であり、ほぼ８割は冷房が備えられていません。

そういった中、国では「空調設備整備臨時特例交付金」が創設され、体育館などにおける空調設置率を今後１０年間で９５％とすることを中長期目標として掲げられました。このガイドラインに沿って、他自治体の先進事例においても、学校体育館への空調導入が進んでおります。

本市では、小中学校の普通教室へのエアコン整備はすでに完了しており、現在は特別教室への整備が進んでおりますが、体育館はすべての学校が未整備の現状です。

加えて、体育館は避難所としての役割も果たしております。先の文科省の調査では、避難所に指定されている公立小中学校の体育館（柔道場や剣道場を含む）の冷房設置率は２３．７％でした。夏季の災害時における避難所運営を想定すると、空調設備の有無は、避難者の健康状態を大きく左右する要因となります。

このことから、平時・災害時の両面において、空調整備は「命を守るインフラ」として極めて重要であると認識します。以下、市の見解をお伺いします。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市の小中学校体育館空調設備の現状と、整備の必要性について。
- 2 体育館利用の現状と活動の制限、現在の暑さ対策について。
- 3 特別教室の空調設備整備のスケジュール感について。
- 4 体育館の空調設備整備の課題として、費用、構造、電力容量など、具体的な制約は何ですか。また、断熱・遮熱対策について。
- 5 今後の計画および財源確保の見通しについて。「空調設備整備臨時特例交付金」等、国の補助メニュー活用の可能性は検討されていますか。
- 6 避難所機能としての観点からの空調設備整備の必要性について。夏季の災害時の避難所運営を想定し、体育館の環境整備についてどのような方針をお持ちですか。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	2
受付月日	8月19日（火）
受付時間	9：18

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 8月19日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 15 番 青柳 信義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	青柳 信義	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 本市における地域公共交通について

【質問要旨】－簡明に－

本市では平成30年10月から「富谷市総合交通検討委員会」を設置し、「住みたく
なるまち日本一」にふさわしい交通環境の実現に向けて、令和元年度に「富谷市都市・
地域総合交通戦略」を策定し市民バスの再編やデマンド型交通の導入など、各種交通施
策の展開を図ってきました。

本年、令和7年度から令和11年度は地域公共交通計画の期間となりますが、交通渋
滞の緩和や移動利便性向上には、計画に対する迅速な整備と実効的な施策の展開が求
められています。市民の声を生かしつつ、技術・財政・運用のバランスを取った取り組
みが重要です。

さらに、最重要となる本市と仙台市泉中央駅を結ぶ新たな軸となる基幹公共交通の
整備は避けては通れない課題であります。

以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 都市型自走式ロープウェイ導入可能性調査の詳細をお伺いします。
- 2 パークアンドバスライド及びサイクルアンドバスライドの利用者数をお伺いし
ます。
- 3 イオン富谷店を拠点とした、市民バスと宮城交通バスとの乗り継ぎ運行事業の
利用状況をお伺いします。
- 4 公共ライドシェア事業の詳細をお伺いします。

答弁を求める者 市長

議 員 名	青柳 信義	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 2 質問件名 小中学校における猛暑対策及びプール授業について

【質問要旨】－簡明に－

近年の地球温暖化の進行により、全国的に猛暑日が増加しており、本市においても夏場の気温は年々上昇しています。こうした中、気温35度を超える中での学校生活は児童生徒の健康にとって深刻な影響を及ぼしかねません。

子どもたちは大人に比べて体温調節機能が未発達であり、熱中症のリスクが高いことが知られています。学校は子どもたちの命と健康を守る場であるからこそ、教育環境の整備と安全対策の強化が強く求められていると考えます。子どもたちが安全かつ快適に学べる教育環境を整えることは、自治体の責務であると言えます。

次に、近年公立小中学校の水泳授業を民間のスイミングスクールに委託する動きが各地で広がっています。老朽化した設備の維持が難しくなっていることに加え、屋外プールでの熱中症対策、日々の水量や水質の管理、清掃、消毒など教員の負担も増大していることが背景にあり、新たな授業に注目が集まっています。

以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市の小中学校において、本年度、熱中症により救急搬送された事例はありましたか。あった場合、児童、生徒数を学校別にお伺いします。
- 2 特別教室や体育館などへの空調設備整備計画の前倒しの予定はあるのかお伺いします。
- 3 WBG T（暑さ指数）などを用いた熱中症対策の運用実態、またそれを受けた授業時間や部活動の調整についての指針はあるのかお伺いします。
- 4 小中学校へのマイボトル対応の給茶機の設置が必要と思いますが、見解をお伺いします。
- 5 熱中症予防に関する教職員向け・児童向けの教育やマニュアルの整備は万全かお伺いします。
- 6 小中学校水泳授業民間委託の検討状況をお伺いします。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	3
受付月日	8月19日（火）
受付時間	9：31

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 1 9 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 2 番 佐藤 浩崇

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	佐藤 浩崇
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 保育人材確保の緊急策について

【質問要旨】－簡明に－

今年８月１３日、こども家庭庁が全国で実施した委託調査結果が明らかになりました。保育施設のうち、実に８０．３％が「保育士らの人材不足を感じている」と回答しており、保育現場における人材確保が深刻な課題となっていることが浮き彫りになりました。背景には、少子化の中でも共働き世帯の増加による保育需要の高まり、保育士資格を持ちながら離職している潜在保育士の存在、そして労働条件や待遇面の課題など、複合的な要因が指摘されています。

本市におきましても例外ではないと考えます。特に、明石台東地区では子育て世帯の転入が顕著であり、今後数年間にわたって就学前児童の増加が見込まれます。この地域の保育需要は今後さらに高まることが予想され、適切な施設整備だけでなく、それを支える保育人材の確保が喫緊の課題であると考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市の保育施設における保育人材の実態をどのように把握しているのか伺います。
- 2 明石台東地区をはじめとする人口増加地域での保育需要見通しと、その需要に応えるための人材確保策について、市の見解を伺います。
- 3 潜在保育士や新規参入者の掘り起こし、そして現職者の定着促進に向けた具体的な施策を、市としてどのように検討・実施していく方針か伺います。
- 4 各施設間の「人材シェアリング制度」や、急な欠員に対応する「応援職員バンク」の創設が有効ではと考えますが、市の見解を伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	4
受付月日	8月19日（火）
受付時間	11：14

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 1 9 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 17 番 菅原 福治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	菅原 福治
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 本市の「地方創生 2.0 推進に向けた多面的な取組み」について

【質問要旨】－簡明に－

今年度は、富谷市総合計画・後期基本計画、また、第 2 次富谷市地方創生総合戦略の二つが満了を迎えます。

本市はこれまで、地方創生拠点整備交付金を活用した、富谷市まちづくり産業交流プラザ「とみぶら」をはじめ、富谷宿観光交流ステーション「とみやど」等の整備で、市政スタートに勢いをつけてまいりました。地方創生交付金等々は、本市にとって大きな役割を果たしたところです。地方創生は、人口減少に歯止めを掛け、地域が抱える課題解決と活力のある地方の実現です。

今後は、第 2 次総合計画、さらには国における地方創生 2.0 に向けた積極的な取組みにより、持続可能な発展を目指さなければなりません。

そのためには、本市独自の潜在的能力を最大限に引き出し、強みを生かしたまちづくりを進めることが鍵となります。

今後とも、暮らすだけのまちに留まらない、働き、生み育て、住み続けるまちへ進化して行くための人口ビジョン・関係人口等、地域活性化策、地域振興策について多面的に伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 これまでの人口ビジョンの推移と、今後の人口ビジョンについての考え方、中間見直し等について。
 - 2 国における関係人口の取組みとして、「ふるさと住民」の登録や「第二の住民票」の交付等の考え方についての見解を。
 - 3 成田二期北工業用地を半導体関連整備として、地方創生 2.0 の大きな柱とし、早急に国内外に発信を。
 - 4 今回の病院選定・決定内容として、医療の機能、病床規模、診療科、救急医療への対応、災害医療への対応等々の評価と、今後の実施スケジュールについて。
 - 5 「都市型自走式ロープウェイ」の可能性と、需要面の見込み、安全性、および事業化に向けた現地調査結果について。
-

答弁を求める者 市長

議 員 名	菅原 福治
質 問 方 式	☐ 一括 ☒ 一問一答

No. 2 質問件名 「今後のコメ農家、減反から増産へ」について

【質問要旨】－簡明に－

「令和のコメ騒動」が発生しました。コメ価格は1年前のほぼ倍に跳ね上がり、暮らしを直撃し大きな問題となりました。

高騰の理由として、人口減少で需要が減り続ける前提での見通しの誤り、また、インバウンド需要の増加を読み切れなかったことや、品薄感を見込んだ業者が、コメを高値で買い集める動き等々、複数の要因がコメ騒動に繋がりました。このような中で注目されたのが、備蓄米の扱いでした。政府は、これまでの運用を見直し放出に迫られ、主食米の安定供給すら危うい状態となりました。

政府は、農家の経営を安定させるため、コメの値崩れが起きないように、需要に応じた生産を促し、実質的にはコメの生産調整を続けてきました。結果的に、今回の様な想定外の需要変化に対応しきれず、コメの高騰を招きました。

政府は、コメの安定供給のためにこれまでの失政を認め、増産に舵を切り、余ったコメは輸出に回す戦略に変更しました。これは「コメを作るな」ではなく、これから農家が、「増産に前向きに取り組める支援に転換する」と言うことで、増産へ大きく舵を切り、新たな農業政策に変更したところです。

今後のことではありますが、考えられる思い、方向性について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 減反政策から増産計画に舵を切ったことへの受け止めについて。
- 2 本市は、兼業農家、小規模の農家が多い自治体ですが、急な増産に対しての課題と対応について。
- 3 多くの離農者や農地の荒廃が進まないよう、増産計画に対応した後継者づくりと育成について。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	5
受付月日	8月19日（火）
受付時間	11：45

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 1 9 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 16 番 渡邊 俊一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡 邊 俊 一
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 ひより台・新町地域へのスーパーの誘致について

【質問要旨】－簡明に－

西友富谷店が閉店され、早一年半が経過しました。その間、ひより台一、二丁目、町上、町中、町下町内会会長連名で富谷市と市議会それぞれにスーパー開設、誘致の要望書が提出されております。議会議員からも同様の意見が出され、市長をはじめ、担当部署においてもあらゆる努力をされてきておりますが、未だに問題解決に至って居りません。市の努力により南部地区商業施設までの市民バスの運行発着やひより台地区への出張販売などを行っていただいております、その努力に対し感謝するところではありますが、根本的な解決には大きくかけ離れており、この件に対しての市の対策について、以下の４問にて質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 これまでのスーパー誘致に対しての市の取り組みについて伺います。
- 2 これからのスーパーの誘致についての対策をどの様に考えておるか伺います。
- 3 スーパー事業者の進出がなかなか見込めない場合、公設公営、または、公設民営による誘致の考えはないか伺います。
- 4 西友跡地の隣りにあります市所有地(現在、イベント時の臨時駐車場)を利用して道の駅のような休憩、商業施設などを整備する考えを提案し、市長に見解を伺います。

議 員 名	渡 邊 俊 一
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 ひより台一丁目から川又山グリーンヒル間の市道改修について

【質問要旨】－簡明に－

ひより台団地内の市道は、40年の経過とともに各箇所に痛みが生じております。

特に、主要道路であります、ひより台から川又山グリーンヒル、一ノ関への十字路交差点付近の損傷が激しく見られることから、次の2問にて質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 現状の確認はなされておりますか伺います。
- 2 修繕、改修の有無についての見解を伺います。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	6
受付月日	8月19日（火）
受付時間	12：42

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 1 9 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 1 番 小松 大介

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	小松 大介
質 問 方 式	☐ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 夏休みの学校のプール開放について

【質問要旨】－簡明に－

近年、猛暑やコロナ渦の影響で夏休みのプール開放が中止になっています。熱中症対策や、水温上昇、監視員の不足など、様々な要因があることは承知しています。しかしながら、子どもたちにとって夏休みのプールは非常に貴重な遊びの一つであり、同時に、水難事故の予防という観点からも、遊びの中にも防災の要素を有した大変重要な価値があります。

リスク管理や運営の難しさを理由にして、大人の事情を子どもに押し付けてはいないでしょうか。子どもたちにとっては大変短く、大変貴重な夏の思い出を、奪うことに繋がっていないでしょうか。子どもにやさしいまちづくりを掲げる本市のありかたが問われる非常に重要な問題だと危惧するところから、本市の適切な対応を期待し、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 夏休みのプール開放が中止になった経緯は。
- 2 過去、水温が基準を超えた日数は。
- 3 熱中症対策、水温上昇対策として、本市が検討や実施した例は。
- 4 最も障壁になっている点は。
- 5 市民プールを建設する意思是。

議 員 名	小松 大介
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 市道大山線の狹隘について

【質問要旨】－簡明に－

本市と利府町方面をつなぐ主要道路である大山線は、大亀山森林公園から大和町鶴巢の山田地区に抜ける道路で、朝夕の出勤時間帯には多くの車が通ります。大亀会館前の坂道は幅員が大変狭く、大型車なども通るため、すれ違うのに非常に危険です。特に冬場は、日当たりが悪いことから、凍結することもしばしばあり、脱輪事故も多発しています。冬場に限らず、最近でも2件の脱輪事故が報告されています。先日行われた西成田公民館での市政懇談会の時にも話題にあがり、懇談会以前からも拡幅を望む声が大変多くあがっています。

パークゴルフ場のオープンや、大亀山森林公園の整備により、今後、より一層の交通量増加が見込まれます。一刻も早い拡幅工事もしくは有蓋化工事が必要と思い、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 当該道路の幅員は国の基準を満たしていますか。
- 2 当該道路における脱輪事故の年間の報告件数は。
- 3 融雪・除雪は適切に行われていますか。
- 4 当該道路における拡幅工事・有蓋化工事の過去の実績及び現状は。

議 員 名	小松 大介
質 問 方 式	☐ 一括 一問一答

No. 3 質問件名 米価高騰に対する本市独自の政策は

【質問要旨】－簡明に－

昨今の物価高騰により、米の生産における資材や燃料費の高騰、また、昨年も酷暑が続ки、生産量にも影響が出たことから、米の価格が高止まりするという現象が起きました。そんな中、米の価格上昇を抑えるために、備蓄米の放出などの対策が講じられましたが効果は一時的なもので、今後も同様の米価高騰が懸念されます。

今年は、米の収穫時期が迫っているなかで、県内においても雨が降らない日が続き、米の品質低下が懸念されています。今後も消費者のもとに米が安定的に供給されるよう、この米価高騰を教訓にして、自治体として出来ることを考える必要があります。

ただし、いたずらに市場介入して米価下落させればそのツケは生産者が払うことになります。バランスの取れた政策で、健全な経済循環をつくる必要があります、どの自治体も頭を抱えています。

例えば、お米のクーポン券の配布や、米を直接消費者に届けるなどして、対策する事例が全国でも報告されています。本市にも多くの消費者がいます。双方が納得して、なおかつ地産地消が図れるような対策を期待して、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

- 1 米価高騰に対して本市が行った政策は。
- 2 水不足による品質低下や価格高騰の懸念は。
- 3 お米クーポン券配布の検討は。
- 4 米の現物支給の検討は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	7
受付月日	8月19日（火）
受付時間	13：05

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 1 9 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 10 番 塩田 智明

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	塩田 智明
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 新病院整備に地域の声を

【質問要旨】一簡明に一

市民の総合病院誘致に対する期待は非常に高く、市民アンケートでも常に上位に挙げられています。しかし、誘致病院の整備に伴い、工事中や病院開院後における交通量の増加、環境負荷、さらには周辺地域の住民生活への影響が懸念されています。

市として、これらの課題を事前に把握し、病院側と十分な協議を行うことで適切な対応を講じる必要があると考えます。また、地域住民との信頼関係を強化し、計画を円滑に進めるための具体的な対策を検討することが求められます。

今後、土地の貸し付け条件等、協議・調整が必要な事項も生じると推察されますが、募集要項には「広報、情報公開への対応等で必要な場合、市は提案書類を使用できる」と明記されています。そのため、市民の関心が高い医療機能、開院時期及び開院までのスケジュール等について、病院提案に基づいた明確な答弁を求め、以下に質問します。

【質問項目】一列 記一

- 1 病床規模、診療科、救急医療の対応、災害医療の対応など、医療機能の内容は。
- 2 災害発生時の患者受け入れ及び医療機能を維持するための備えの内容は。
- 3 開院時期及び開院までのスケジュールの提案内容は。
- 4 近隣住民との意見交換や説明会の実施が求められます。住民説明会の開催時期について、本市の考えは。
- 5 工事中及び開院に伴う交通量増加への具体的な対策は何か。
- 6 敷地予定面積は、本市取得済み分約5.4万㎡、未取得分約0.9万㎡ですが、誘致病院の整備に必要な面積と残る敷地の有効活用方針は。
- 7 東日本大震災では、宮城県仙南・仙塩広域水道管路が損傷し、明石台地区では18日間にわたり断水が続きました。この地区に整備予定の病院では、災害発生時の水の確保が懸念されますが、本市はどのような対応策を講じる予定でしょうか。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	8
受付月日	8月19日(火)
受付時間	13:57

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 8月19日

富谷市議会

議長 金子 透 殿

富谷市議会議員 14 番 出川 博一

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	出川 博一	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 1 質問件名 総合病院公募の状況は

【質問要旨】－簡明に－

救急・急性期を担う総合病院を公募により誘致することを5月9日に決定し、6月5日から公募を開始いたしましたが、仙台医療圏内に病院を開設している事業者2者から参加申請の提出がありました。(令和7年6月20日・市長メッセージ)

「今後は、募集要項のスケジュールに沿って、当該事業者から7月22日を期限に応募書類を提出いただき、学識経験者等で組織する選定委員会において8月19日に候補者を選定いただくこととしており、翌日の8月20日に候補者を決定、公表するスケジュールで取り組んでまいります。」としております。

以下、「富谷市誘致病院事業者候補者公募募集要項」等について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 富谷市の支援。
 - (1) 整備に対する支援
 - (2) 運営に対する支援
 - (3) 交通に対する支援
 - (4) 地域医療連携等の支援
- 2 宮城県の支援。

議 員 名	出川 博一	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 2 質問件名 第9期介護保険事業計画は

【質問要旨】－簡明に－

令和6年4月1日より、第9期介護保険事業計画がスタートし、9月に折り返し時期に入ります。

今後、令和7年には団塊の世代が全員75歳以上の後期高齢者となるほか、団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22年ごろには、市民のおよそ3人に1人が高齢者となり、地域社会を取り巻く課題は今以上に複雑化・複合化していくことが予想されます。

以下、今後の動向等について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 令和7年3月31日現在の生活圏域（3圏域）の動向と今後の方策は。
- 2 生活圏域ごとの特徴的な動向と今後の方策は。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	9
受付月日	8月19日（火）
受付時間	14：26

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 1 9 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 4 番 須藤 義

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	須藤 義
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 こどもの学習・生活支援事業について

【質問要旨】－簡明に－

本市のこどもの学習・生活支援事業は、「学習支援」「居場所づくり」「相談支援」の3つを柱としていますが、今後の運営に当たっては以下のような懸念があります。

まず第一に「学習支援」について。現場での学習支援には委託先の民間企業に登録している講師が当たることになるとと思いますが、講師の採用に当たって教員免許などは必須とされておらず、高校を卒業したばかりの大学生がアルバイトの一環として従事しているケースもあります。また、指導方法や内容について会社側からのレクチャーは無いも同然で、採用された個々人のスキルに依存しています。このように、学習支援に当たる講師の専門性が何ら担保されていません。

第二に、「居場所づくり」について。当該事業は子どもたちの「居場所づくり」という目的も兼ねているため、提供される軽食を食べながら講師とおしゃべりをするだけでもよいわけです。そうすると、静かに学習をしたい子どもたちと軽食やおしゃべりを楽しみたい子どもたちとが同じ空間で一緒になることとなり、学習をしたい子どもたちの集中が阻害されないでしょうか。

第三に、「相談支援」について。これについては第一の問題と同様に、対応する講師の専門性が担保されていません。教員免許や保育士、心理士など何等の資格もない講師の方がどのように相談を受け、何を子どもや保護者にフィードバックするのか、その部分の専門性の担保はきちんと検討されているのでしょうか。

本市としては以上のようなリスクを念頭に置きながら、しっかりとチェック機能を構築して運営の推移を見守る責務があることを申し上げて、以下の点について質問致します。

【質問項目】－列 記－

- 1 当該事業の参加定員と開始時点での申込者数は。
- 2 「学習支援」及び「相談支援」に当たる講師の専門性が担保されないリスクについて見解は。また委託先決定に当たり、その点は企業側に確認しましたか。
- 3 「居場所づくり」について、静かに学習をしたい子どもたちと軽食やおしゃべりを楽しみたい子どもたちとが一緒になることへの見解と対策は。

答弁を求める者 市長

議 員 名	須藤 義
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 2 質問件名 学校備品劣化への対応は大丈夫か

【質問要旨】－簡明に－

昨今、私たち日本人は、学校施設の老朽化という危機に瀕しています。学校の老朽化は建物についてのみ問題となるものではありません。教室の机や椅子、あるいは理科の標本や跳び箱などの学校教材についても老朽化や劣化が進んでいます。先日、市内の中学校を訪れる機会を得ました。その際、気になったのは特別教室で使われている生徒用の椅子がひどく劣化していたことです。その状況から推測すると、理科で使用する標本や模型、あるいは体育で使用する跳び箱やマットなども同様に、何十年も同じものを使用され続けている実態はないでしょうか。

本市では学校照明のLED化やエアコンの設置、トイレの改修など学校環境の整備に取り組んできており、その点は高く評価できるものと考えます。しかし一方で、その他の学校備品、あるいは特別教室の机や椅子については、ややもすると見過ごされてきたのではないのでしょうか。

文部科学省によれば、「各教育委員会においては、所管の学校からの意見を聴取しつつ、複数年次にわたる教材の整備計画を策定することが望まれる。」とされていますが、本市における計画の策定はどのようなになっているのでしょうか。

学校で使われる備品は子どもたちの教育効果を高め、児童生徒の学習理解を助ける上で極めて重要であり、その充実は不可欠です。本市におきましては、このことを踏まえ計画的に学校備品の劣化対応を行うことが望まれると考え、以下のとおり質問致します。

【質問項目】－列 記－

- 1 学校備品及び特別教室の机や椅子の劣化や破損状況については、どのような方法で把握していますか。
- 2 文部科学省の「教材整備指針」によれば、「複数年次にわたる教材の整備計画を策定することが望まれる」とされていますが、本市における計画の策定は。
- 3 新年度予算の策定に際しては、予算を増額して対応に当たるべきと考えますが、見解は。

答弁を求める者 教育長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 0
受付月日	8 月 2 0 日（水）
受付時間	1 0 : 1 5

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 2 0 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 5 番 畠山 由美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 3 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	畠山 由美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 これからの英語教育について

【質問要旨】－簡明に－

日本の英語教育において「約10年英語教育を受けても話せない人が多い」、「中学生・高校生の英語レベルが文部科学省が定めている英語力目標に届きにくい」などの問題点があるとされています。授業のほとんどが文法の学習や、単語・熟語の暗記などに割かれ、英会話の授業が軽視されている傾向にあります。具体的には、音声学習が足りない、受験対策が重視されている、和訳を前提としている、英語を使う機会が少ない、そして、ALTをうまく活用できていないなどがあげられます。

これからの多文化共生社会で活躍する子どもたちにとって、生活のあらゆる場面で英語でのコミュニケーション能力が必要になってきます。そのためには、早い時期から英語の音に慣れさせることが重要です。

今、自治体でもさまざま工夫を凝らし、子どもたちの「聞く・話す・読む・書く」の4つの技能レベルアップを目指しています。本市においても、子どもたちの英語力がさらに向上するよう推進すべきであると考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 私は以前「生きた英語教育を」として、幼児期からのアプローチの重要性を訴えました。本市の幼児教育における現状についてお伺いします。
- 2 小学校における英語の授業で力をいれていることは。
- 3 本市のALTの活用状況と、英語力向上にどのような効果がありますか。
- 4 高校受験や大学受験において、英検取得が重要視されますが、本市として、取得率向上にむけた取り組みについてお伺いします。
- 5 本市は英語力のレベルアップを目指している子どもたちが多いと思われますが、市としてどのような支援をお考えかお伺いします。
- 6 本市の子どもたちの英語コミュニケーション能力向上にむけて、具体的な施策についてお伺いします。

議 員 名	畠山 由美	
質 問 方 式	一括	一問一答

No. 2 質問件名 結婚支援について

【質問要旨】－簡明に－

日本の人口減少が予想をはるかに超えるスピードで進んでいます。その原因の一つに、若い世代の未婚割合が年々上昇していることがあげられます。このままの傾向が続けば、50歳以下の世代で男性は3割、女性で2割が未婚になると推計されています。

こども家庭庁のアンケート調査によると、未婚者の9割が「いずれは結婚するつもりである」と答え、結婚の意思は男女ともに高い水準を維持しています。しかしながら、適当な相手にめぐり逢わないことから、希望が叶っていない状況にあります。若い世代は公的な結婚支援の取り組みに対する期待を持っており、6割が行政が積極的に取り組むべきと考えているとのことです。

全国の自治体では「地域少子化対策重点推進交付金」を活用し、結婚支援事業を推進しています。本市においても例外ではなく、「出会いの機会」や「場の提供」を期待する未婚者のために、積極的に結婚支援を行うべきであると考え、以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市は、現在どのような結婚支援を行っていますか。
- 2 みやぎ結婚支援センター「みやマリ」ではAIを活用したマッチングシステムで結婚成立したカップルが200組に達したそうです。本市の「みやマリ」への活用状況は。
- 3 宮城県でも多くの自治体が「地域少子化対策重点推進交付金」を活用して結婚支援を推進しておりますが、本市の現状は。
- 4 未婚者数を減少に導く取り組みについて、本市の見解をお伺いします。
- 5 50歳以上の結婚支援について、本市の見解をお伺いします。
- 6 婚活サポートや移住定住促進事業、結婚生活支援事業などを専門的に推進する組織が必要であると考えますが、本市の見解をお伺いします。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 1
受付月日	8 月 2 0 日（水）
受付時間	1 1 : 1 2

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 2 0 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 1 3 番 浅野 直子

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 3 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 福祉向上を目指す方向性について

【質問要旨】－簡明に－

社会情勢における生活の環境、経済、健康等の支援について、これまでも支援の拡充が推進されてきました。しかしながら、市民生活に視点を向ければ物価高騰による目まぐるしい変化や少子高齢化による生活環境の維持、健康、障がい者支援等に課題は尽きない状況で、各自治体の支援のあり方も様々です。安心して暮らせる環境整備を求め、今後の本市の福祉向上を目指す方向性について問います。

【質問項目】－列 記－

- 1 物価高騰対策支援として、割増商品券販売の取り組みについて理解は示しますが、商品券の一律配布を望む声も多く聞かれました。今後の物価高騰による独自支援及び商品券の一律配付について伺います。
- 2 障がい者への様々な支援や事業者の誘致は大変重要であると考えますが、親亡き後の心配は尽きません。誰もが安心して暮らせる福祉施設の考え方、方向性について伺います。
- 3 障がい者の居住施設として、保健福祉総合支援センターなどの施設周辺にある土地活用はできないか伺います。
- 4 困難を抱える方等に対してスムーズな対応が行えるように、他自治体でも導入の支援カード作成が必要であると思いますが、見解を伺います。
- 5 福祉施設、事業者誘致に対する本市の取り組み、課題について伺います。
- 6 今般、団地内においてハクビシンの被害報告が多数あり、庭先のプランターの野菜なども全滅し、空き家に巣を作り、夜中に側溝を駆けずり回るなど、今後も被害はますます増える可能性も否定できない状況です。団地内におけるハクビシン駆除に対する補助金について伺います。

議 員 名	浅野 直子
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 2 質問件名 R S ウイルスワクチン接種助成について

【質問要旨】－簡明に－

肺炎を引き起こすウイルス感染症の一つとして、R S ウイルス感染症があります。年齢を問わず何度も感染するため、生まれたばかりの新生児から高齢者まで幅広い年齢層で感染します。ほぼ全ての新生児・乳幼児が2歳までに感染し、多くは軽症で収まりますが、中には重症化するケースもあります。妊婦に接種することで、出生後の新生児や乳児のR S ウイルス感染症を予防する母子免疫ワクチンが販売開始されています。高齢者の場合は、感染症の重症化リスクも高いということから、肺炎球菌ワクチンの定期接種等も公費助成となりました。

成人及び高齢者におけるR S ウイルス感染症の治療薬はありませんが、令和5年9月にR S ウイルスワクチンが日本で承認され、令和6年1月15日から接種可能となりました。接種費用は任意接種のため自己負担となり、2万円以上となっております。特に、基礎疾患を持つ方、免疫力が低下している方が罹患しやすくなっている現状です。

以上のことから接種費用の助成について見解を伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 R S ウイルス感染症に関する捉え方、発信について伺います。
- 2 母子免疫に対する考え方、接種費用の助成についての見解を伺います。
- 3 成人・高齢者に対する接種費用の助成について伺います。
- 4 助成に対する課題等について伺います。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 2
受付月日	8 月 2 0 日（水）
受付時間	1 1 : 2 7

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 2 0 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 9 番 村上 治

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 3 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	村上 治
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 社会教育施設長寿命化計画について

【質問要旨】－簡明に－

国の策定した「インフラ長寿命化基本計画」により「富谷市公共施設等総合管理計画」を策定しました。これに基づき令和4年6月に「富谷市社会教育施設長寿命化計画」が策定されました。この計画の目的は、社会教育施設の長寿命化の観点から中長期的な財政負担の低減及び平準化を図り、社会情勢の変化やニーズに配慮した施設の維持管理・更新等を着実に推進することとしています。計画策定から3年が経過していますが、計画に基づく長寿命化の実施及び計画のフォローアップが重要だと考えます。

そこで、以下の点について伺います。

【質問項目】－列 記－

- 1 これまでの進捗状況について。
 - ① 計画と実施の状況(変更含む)は。
 - ② 計画費用と実施費用の格差は。
- 2 3年を目安とする建物定期点検と計画のフォローアップは。
- 3 令和9年度から始まる富ヶ丘公民館の長寿命化改修について。
 - ① 改修のタイムスケジュールは。
 - ② 改修のための経費の確保は。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 3
受付月日	8 月 2 1 日（木）
受付時間	9：22

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 2 1 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 1 2 番 長谷川 る美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 3 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 1 質問件名 総合病院誘致について

【質問要旨】－簡明に－

本年５月に東北労災病院の本市への移転断念が正式に決定し、それを受けて６月５日、市は公募による病院誘致を開始しました。８月２０日には、学校法人東北医科薬科大学が候補者として正式に公表され、黒川地域における救急対応や急性期医療の強化及び医療連携や市民生活の安心など、多面的な期待に繋がると思います。

以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 選定委員会が重視した基準や特に評価したポイントについて。
- 2 「医療連携支援等プラットフォーム」の目指す機能と役割について。
- 3 提案書で示された運営体制や収支計画などを、今後、公表する予定はありますか。
- 4 病院立地推進室の、主な職務内容と役割について。
- 5 今後、市民への周知の時期と方法、また、説明会開催の検討は。
- 6 本市に誘致する病院が、仙台医療圏全体の医療資源の最適配置にどのように寄与すると考えますか。

答弁を求める者 市長

議 員 名	長谷川 る美
質 問 方 式	☒ 一括 一問一答

No. 2 質問件名 課税誤りの再発防止と適切な人員配置について

【質問要旨】－簡明に－

本市において、2度にわたる課税誤りの事案が発生いたしました。再発防止と、より広い視点に立った組織全体の業務運営や人員配置等の見直しが必要であると思われました。信頼される富谷市となることを切に願い以下質問いたします。

【質問項目】－列 記－

- 1 過去に同様の事案が発生した際に、それらをどのような形で市民に公表し説明してきましたか。また、その情報公開の方針について。
- 2 適切な人員配置と、繁忙期における会計年度任用職員や他部署職員を活用した応援体制について。
- 3 チェック体制の強化について。
- 4 システム運用と業務フローの見直しについて。
- 5 職員の能力向上への取り組みと組織体制の強化について。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 4
受付月日	8 月 2 1 日（木）
受付時間	9：2 6

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 2 1 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 6 番 荒谷 敏

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 3 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	荒谷 敏
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 市内公共施設等への空調設備導入について

【質問要旨】－簡明に－

今年は、連日、異常な暑さに襲われ、テレビやラジオなどで警戒情報が毎日のように流れています。気象庁の歴代最高気温全国ランキングを見ても、ワースト1位から4位までの5地点は全て今年の観測で、41度超えのこれまで経験したことのない状況が続いています。

このような中で、先日、私の所属している団体のバレーボール大会を富谷スポーツセンターで開催しました。主催者として熱中症警戒アラートが発令されれば大会を中止にするか悩みましたが、幸い、大会は無事に終わることが出来ました。

今年は、10月までも、この暑さが続くのではないかと予報も出ています。

本市においては、市内全小中学校の普通教室にいち早く空調設備が設置されました。子供たちの授業には影響はありませんが、体育館は未整備となっています。

学校体育館をはじめ、富谷スポーツセンターは災害時の避難所にもなることから、環境改善を図る意味でも空調設備は必要不可欠と考えます。

以上のことから、記録的な猛暑が毎日続き、熱中症リスクも年々高まっており、子供たちや活動している市民の皆さんの熱中症対策、災害時の避難所としての機能拡充の観点から、公民館ロビーをはじめ学校体育館、スポーツセンターへの空調設備設置に向けて取り組んでいただきたく、以下の点について伺います。

【質問項目】－列記－

- 1 快適な体育館等での運動、災害時の市民の健康を守るため空調設備が必要と考えますが現状の取り組み及び学校体育館、富谷スポーツセンター、各公民館ロビー等への設置計画は。
- 2 文部科学省の補助制度の活用については。
(現20%設置率を10年後95%まで設置率を引き上げる対策)
- 3 空調設備設置による費用シミュレーションはされていますか。
- 4 具体的な設置に向けての計画策定が必要と思いますがその方向性は。
- 5 7月30日に津波警報発令により沿岸部で避難所が開設されましたが、暑さ対策がなく自治体で急遽スポットクーラーをレンタルした状況がありました。本市においても対策を急ぐ必要があると考えますが、対応は。

答弁を求める者 市長

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 5
受付月日	8 月 2 1 日（木）
受付時間	1 0 : 2 5

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 2 1 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 8 番 渡邊 清美

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和 7 年第 3 回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第 6 2 条第 2 項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	渡邊 清美
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 社会保障について

【質問要旨】－簡明に－

長引く物価高騰が家計を圧迫しています。国民健康保険の全国共通の課題として、主な被保険者は、年金収入者、自営業者や学生であるため、他の医療保険制度に比べ、高齢者、低所得者の加入割合が高いのが特徴です。その特徴から、財政基盤の脆弱性が課題になっており、今後富谷市でも起こりうる事象です。

また、後期高齢者医療制度の問題点は、医療費の増加、保険料の上昇、そして制度の複雑さです。現在、75歳以上の一定以上の所得がある加入者の窓口負担割合は、令和4年10月から今年9月末までの3年間は、負担を抑える配慮措置がとられ2割負担となっています。今年10月以降は配慮措置の適用が終了することから、今後、社会保障費の負担増が見込まれますが、負担軽減の考えや対策が必要と考え、以下質問します。

【質問項目】－列 記－

1 国民健康保険について。

- ① 本市の加入状況は。
- ② 今後の加入状況をどのようにみているのか。
- ③ 保険料(税)水準統一化の進行の現状は。
- ④ マイナンバーカード移行の状況は。

2 後期高齢者医療制度について。

- ① 今後の加入者の推移は。
- ② 加入者数のピークはいつ頃と捉えているのか。
- ③ 今年10月以降の窓口負担増になる加入者数は。

議 長	副 議 長	事務局長	書 記

受付番号	1 6
受付月日	8 月 2 1 日（木）
受付時間	1 1 : 1 9

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 8 月 2 1 日

富谷市議会

議長 金 子 透 殿

富谷市議会議員 4 番 伊藤 嘉樹

質 問 方 式 一括方式 ・ 一問一答方式

令和7年第3回 富谷市議会定例会における一般質問を、富谷市議会会議規則
第62条第2項の規定により別紙のとおり通告いたします。

議 員 名	伊藤 嘉樹
質 問 方 式	一括 一問一答

No. 1 質問件名 本市の消防・救急体制について

【質問要旨】－簡明に－

消防及び救急の体制拡充については、市制移行前より過去何度も検討されてきた経緯があります。また、コロナ禍より救急需要が高止まりしている中で、黒川消防本部の現有消防力と総務省が規定する指針消防力には大きな乖離があり、市民の安心安全への影響もさることながら、消防職員の負担感や疲弊は大きいと思われます。

また、富谷市内を見ても、平成24年の消防施設整備計画実態調査時点で既に消防力が不足しているとされており、現在も他町村の署所から救急車が市内へ向かう事案が多く発生しています。

一方、市で注力している企業誘致に関しても、BCPにおいて近隣自治体の非常時の対応能力や、従業員の安心や健康の確保は重視される事項であり、消防力の強化は多方面から求められているものと考えます。

黒川消防本部は一部行政事務組合で管理運営されているために、我が富谷市の意向のみで全てを決定出来るものではありません。しかしながら市民生活に直結する問題ですので以下の通り質問致します。

【質問項目】－列 記－

- 1 本市における常備消防力の現状について認識は。
- 2 富谷黒川南部地域、つまり富谷市南東部への署所の設置等、具体的な施策の実現に向けた動きはありますか。
- 3 消防職員の確保に向けた具体的な提案の予定はありますか。
- 4 企業誘致活動において現在の消防本部の体制が影響したことはありますか。
- 5 市防災安全課と黒川行政事務組合及び黒川消防本部との連携や協議の現状は。

答弁を求める者 市長